

製品名: RPLP0 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87068**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	Calculated MW:34 kDa; Observed MW:34 kDa

抗原情報

遺伝子名	RPLP0
別名	P0; LP0; L10E; RPP0; PRLP0
遺伝子ID	6175
SwissProt ID	P05388
免疫原	ヒト RPLP0 の組み換えタンパク質

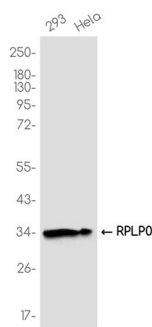
背景

リボソームは、タンパク質合成を触媒する細胞小器官で、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。

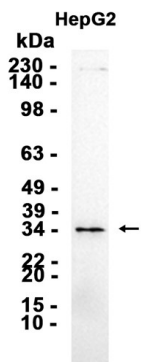
す。これらのサブユニットは、4種類のRNAと約80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、60Sサブユニットの構成要素であるリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、大腸菌 L10 リボソームタンパク質と機能的に同等であり、リボソームタンパク質の L10P ファミリーに属します。これは、酸性リボソームリンタンパク質 P1 および P2 の C 末端とほぼ同一の C 末端を持つ中性リンタンパク質です。P0 タンパク質は P1 および P2 と相互作用して、P1 および P2 の二量体と P0 単量体からなる五量体複合体を形成します。このタンパク質は細胞質に局在します。選択的スプライシングによって生じた転写バリエーションが存在し、それらは同じタンパク質をコードしています。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的であるように、この遺伝子にはゲノム中に複数の処理された擬似遺伝子が散在している。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



RPLP0 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、293 HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。



AMRe87068 を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。